

平成 22 年度環境こだわり農産物残留農薬検査結果（概要）

1．分析の目的

環境こだわり農産物認証制度に対する消費者からの信頼性を高めるために、認証された環境こだわり農産物について、農産物中の残留農薬の検査を実施するとともに、生産記録が正しく記載されていることを確認することとしています。

2．分析試料

平成 22 年産環境こだわり農産物

30 検体（水稲 20 検体、野菜・果樹 10 検体）

3．分析農薬

水稲 28 農薬、野菜・果樹 28 農薬

4．分析結果

（1）分析した農薬のうち、食品衛生法の残留基準値を上回る農薬は検出されませんでした。

（2）水稲 15 検体から、検出下限（0.01 ppm）を超える農薬が検出されましたが、いずれも残留基準値以下であり、生産記録に記載されていました。

5．今後の対応

引き続き、生産記録を正しく記載されるように、指導します。